

株式会社サニーアート



スーパースクリュークラッシャー
(グループ企業の(株)石田産業)

○本社所在地：滋賀県大津市大萱1丁目
4番7号

○事業概要：廃棄物処理業

○常時使用する従業員：90名
(グループ全体・2025年11月時点)

○現在の売上高25.2億円
(グループ全体・2025年5月期)

○法人番号：3160001003371

○Web：webサイトなし

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
木下 昌秀

静脈産業の総合ワンストップサービス

株式会社サニーアートは、グループ10社を束ねる総合廃棄物運搬・処理企業群の親会社として、廃棄物関連の管理及び総合コンサルタント事業を展開しているが、傘下の子会社等においては、事業系一般廃棄物や建築廃材などの廃棄物の収集運搬業務・中間処理、工場や建設現場などの廃棄物や特別管理産業廃棄物（廃石綿、PCB廃棄物）の収集運搬業務、さらには歯科金属スクラップの精錬・分析・買取業務など、静脈産業に係る業務を幅広く手掛けており、静脈産業の総合的なワンストップサービスの提供を目指しております。

今後ますます重要となる廃棄物排出量の削減、リサイクルの推進を行うとともに、コンサルティングを通じて、企業の環境価値を一層高めてまいります。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

(株)サニーアートグループにおける事業会社として年率5%程度／年の成長を達成します。
また、成長性が見込まれる企業のM&Aを通じて7～10%/年をめざします。
これらによって、2034年におけるグループ全体の売上高100億円をめざします。

課題

- ・人材確保
静脈産業の特に中小企業には、昨今若手を中心とした人材にとって必ずしも魅力のある職場とは映らない。規模を拡大していくためには年齢等問わず必要な人材を継続確保することが必須。
- ・資金調達
企業買収を重ねることによる投資資金は金融機関からの借入が主な資金となるが、継続的な資金確保には収益向上が必須。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

(株)サニーアートグループは、傘下の事業会社((株)石田産業他)において、新規設備導入による新事業への拡充や、関東エリアも含めた新規顧客開拓により年率5%成長を実現します。
これに加え、近畿圏(主に滋賀、京都、大阪)及び関東圏において、成長性が見込まれる企業(5～7%)のM&Aを通じて売上高を拡大し、グループ全体のシナジーを最大化して目標を達成します。
さらに、事業会社全般を通じてITシステムの浸透と併せて行うDX化を推進し、グループ全体としての収益向上を図ります。

実施体制

- ・サニーアートグループにおける適正な役割分担と一体化
事業展開するグループ内企業において、リサイクルする品目や対象、地域などを役割分担し、グループとしてトータルの処理能力を高めていく。また、DX化を通じて間接業務の効率化・見える化を推進し、事実上グループ一体となった経営管理を行う。
- ・木下グループとしての協業
サニーアートグループは、同じくオーナー社長である木下昌秀が経営する(株)木下カンセー及びその子会社等とは協業関係にあるため、廃棄物収集にあたっての連携を通じた効率化を図る。

売上高100億円実現の目標と課題及び対応方法

○事業拡大方針

・取扱品目等の拡充

⇒既に、事業系一般廃棄物、建築廃材、歯科廃材、廃油、消火器などの各廃棄物収集運搬、処理業について、それぞれの主体ごとに許認可の取得もバラバラであるが、これらをノウハウを共有化し、品目の幅を各事業者ごとに拡充する。

・取引地域の拡充

⇒サニーアートは滋賀県に本拠を置くが、同じ滋賀県でも東地域に本拠を置く石田産業や、京都に本拠を置く京環、さらには横浜の平賀興業所、川崎のPGM DENTAL,更には千葉県君津市の(有)ヒロセなど、近畿一円のみならず、関東地域においてもその商圏を広げており、品目の拡充と併せて商圏も拡充する。

・関東圏、近畿圏での企業買収の拡充

⇒関東圏、近畿圏において既に拠点を充実させつつあるが、これらに加え、新たに静脈産業関連で、関東圏・近畿圏におけるそれぞれ有力な企業の買収を手掛け、品目及び地域において拡大路線を図る。

○木下カンセーグループとの協業による規模の利益拡大

・木下カンセーグループとの協業

⇒既に「100億円宣言」実施済みの木下カンセーグループとは、オーナー社長が同じで実質兄弟グループとなっている。このため、サニーアートグループとしては、回収車の共用化やシステムの相乗りなど、相互のグループの強みを補完し合って、規模の利益を追求し大手に太刀打ちできる企業グループを形成する。

